

1．会 合 名	格付の利用のあり方に関するワーキング・グループ（第3回）
2．日 時	平成23年2月1日（火）午後4時30分～6時
3．議 案	格付を巡る現状等について
4．主な内容	<p>格付を巡る現状等について（市場関係者からのプレゼンテーション） 日興コーディアル証券及びムーディーズジャパンより、ストラクチャードファイナンスに関する「格付を巡る現状等」について説明が行われ、大要以下のとおり意見交換が行われた。</p> <p>(1) 日興コーディアル証券【金融商品取引業者（証券化商品のアレンジャー）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業金融と資産金融 ・資産の種類とリスク特性 ・証券化商品の概要 ・証券化商品の損失の特徴 ・格付の取得と商品組成の関係 ・複雑な証券化商品 <p>(2) ムーディーズジャパン【信用格付業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストラクチャードファイナンスの格付 ・ストラクチャードファイナンス格付の意味 ・RMBSの標準的なストラクチャー ・損失（ロス）率の発生確率分布 ・ストラクチャードファイナンスに導入した2つのリスク指標 ・Vスコアを構成する4つの要素とその詳細項目とスコアカード ・各アセットクラスの典型的案件におけるVスコアの分布 ・パラメータ・センシティビティの例 <p>（意見交換等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常の経済循環における格付の有用性とは対照的に、経済構造自体の激変時においては、その有用性が十分に発揮されない時があったのではないかと。したがって、格付付与にあたっては、定性面も加味した分析が必要ではないかと。 ・格付はシンプルであることに利便性がある一方、シンプルであるがゆえのリスクも抱えているため、追加的な情報の開示が進められるべきではないかと。 ・格付対象の違いによりリスク特性は異なり、それぞれの格付の意味合いも異なる。こうした点が投資者に正しく認識され、適切に格付が利用されるような環境づくりが重要ではないかと。
5．その他	本議事要旨は暫定版であり、今後、内容が一部変更となる可能性があります。
6．本件に関する 問い合わせ先	自主規制2部（03-3667-8456）